

**基板 対 基板(FPC)コネクタ検査用治具
新製品『B to B クリップ (CCBB シリーズ)』発売**

株式会社ヨコオ・ディ・エス
東京都北区滝野川7-7-7
TEL : 03-3916-3141 (代表)

■要 旨

カタログによる通信販売で高周波回路向け検査治具および検査用具を提供する専門メーカーである(株)ヨコオ・ディ・エス(略称ヨコオDS、以下当社)は、フレキシブルケーブル(以下、FPC)用検査治具「クリップコネクタ」を主力製品として製造、販売していますが、4月よりFPCに搭載された基板対基板(FPC)用コネクタ(以下、B to B コネクタ)向け検査治具の新製品『B to B クリップ (CCBB シリーズ)』の発売を開始しました。

■市場動向と開発の背景

携帯電話など小型電子機器に現在多く使用されているB to B コネクタの検査には、嵌合相手側のコネクタを利用することが一般的となっています。しかし、検査では嵌合相手側のコネクタの挿抜を繰り返し行なうため、嵌合相手側のコネクタの挿抜耐久性が低い場合には嵌合相手側コネクタが大量に必要となり、その結果、使用済みになった大量のコネクタが廃棄物となってしまうという問題があります。更に、検査時の嵌合挿抜作業は、被検査側のB to B コネクタに「こじれ」や破損などの問題を発生させる原因となるため、こうした問題を解消した検査用治具へのニーズが高まっていました。

■新製品『B to B クリップ (CCBB シリーズ)』の特長

今回当社が発売した『B to B クリップ』は、FPCに実装されたB to B コネクタとの間をワンタッチで素早く着脱できる治具で、被検査側コネクタとの接点にヨコオ独自開発の高性能プローブを使用することで挿抜耐久性を高めており、嵌合相手側のコネクタを使用した場合と比較して、廃棄物の発生が少ないというメリットを持っています。

外形寸法も(縦60mm、横幅26mm、高さ26.9mm)と大変小さく、接続される検査装置に組み込んだ場合でも、装置自体の小型設計が可能です。

治具の基板については、検査装置との接続に多彩な方法を提供するため、①線材の半田付け可能基板、②FPC(フラットリボンケーブル)コネクタ付基板、③被検査側B to B コネクタの嵌合相手となるコネクタの搭載が可能な基板の3種類から選定可能としました。

被検査側コネクタの治具へのセットにあたり、被検査側コネクタは、その形状に合わせたフローティングガイド穴に差し込むだけでプローブと垂直に接触し続ける様クリップされます。このため、嵌合相手側のコネクタを使用した検査でコネクタの挿抜時に起きる、被検査側コネクタの「こじれ」や破損などの問題を解消でき、作業性に優れているという特長も有しています。

■ 『 B to B クリップ (CCBB シリーズ) 』 の概要

◇対応ピッチは0.4mmまで、最大プローブ数は60極。

◇検査装置との接続配線用に基板タイプを3種類用意。

①ディスクリート配線用パッド付き（線材の半田付け可能）タイプ

②FRC（フラットリボンケーブル）コネクタ付タイプ

③被検査側 B to B コネクタの嵌合相手となるコネクタ実装用パッド付きタイプ

◇小型軽量化により、手で持って使用することが可能（据え置きでの使用も可能）。

◇発売価格は、プローブの使用数によって異なるが、40極仕様で78,000円。

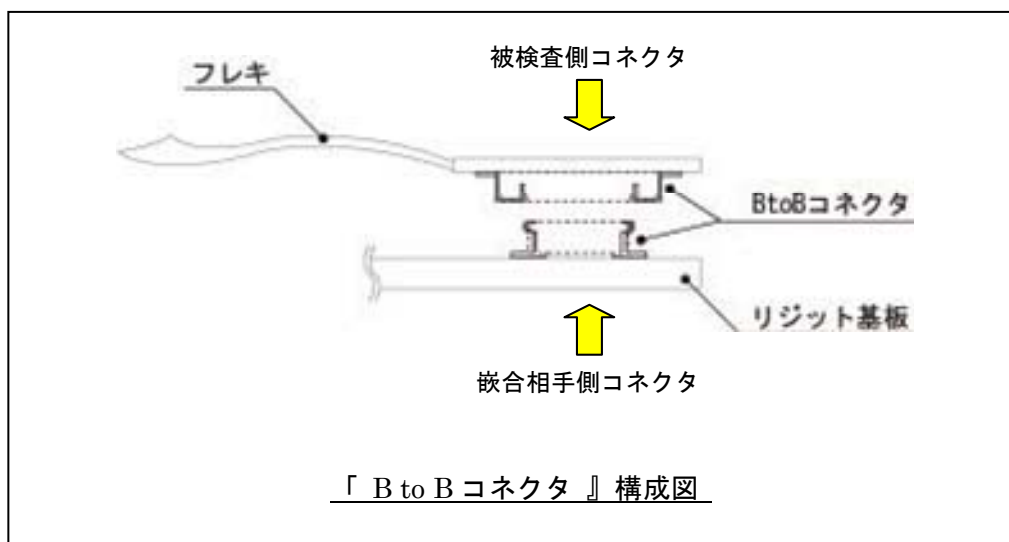
◇納期は、仕様確定後、約8日間と業界最短を実現。

■今後の計画

当社では、『 B to B クリップ (CCBB シリーズ) 』を4月2日から配布を開始した新カタログ「2007年版クリップコネクタと検査用具の通販カタログ」に掲載しており、業界のニーズにマッチした製品として需要が伸びるものと期待しております。



《写真》 『 B to B クリップ 』 と検査側「B to B コネクタ」



《 株式会社 ヨコオ・ディ・エス 》 会 社 概 要

- ・所在地 : 東京都北区滝野川7-7-7 サークル伊藤ビル6F 〒114-0023
- ・代表者 : 代表取締役 牧野 正
- ・設 立 : 2000年2月
- ・資本金 : 1億100万円 ((株)ヨコオ 100%出資)
- ・事業内容 : 検査用具・治具等の通信販売
- ・URL : <http://www.yokowods.co.jp>
問い合わせ E-mail : yds@yokowods.co.jp

本件に関するお問い合わせ先
(株)ヨコオ・ディ・エス
商品開発担当
TEL : 03-3916-3141
FAX : 03-3916-3139

以 上